サモアでヘルスケア

浦崎歯科医院
浦崎裕之

《サモアで現在行っていること》

〈対象〉
サバイ島　サイピピ小学校
　　6歳～13歳　　8学年 約160名

その他1つの小学校及び2つの支援学校

フッ化物洗口　週一回法

《目標》

昔お世話になったサモア人に恩返しをしよう

↓

サモアの歯科医療を予防をベースとした歯科医療に転換させたい

1) Samoa

2) 歯科医師が全く足りない

- ○ 本島 首都アピア 国立病院 歯科
  歯科医師約13名
  デンタルセラピスト約20名
  歯科技工士2人
  診療台9台＋3（最近日本からの援助）
- ○ 首都アピア 開業医2名
- ○ 隣の島(サバイ島)の地方病院
  2名歯科医師

  治療は抜歯が多い

- ○ サモア　人口約20万

  歯科医師約17名
  歯科施設数　4施設
  12000人 / 歯科医師

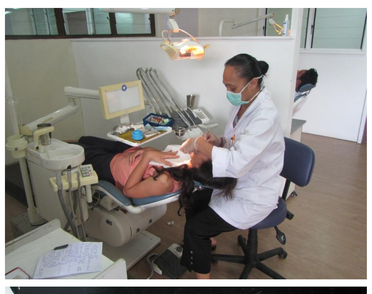
3) 経過

- 1985—1987年 Samoa National Hospital
  ボランティアとしてサモアに滞在

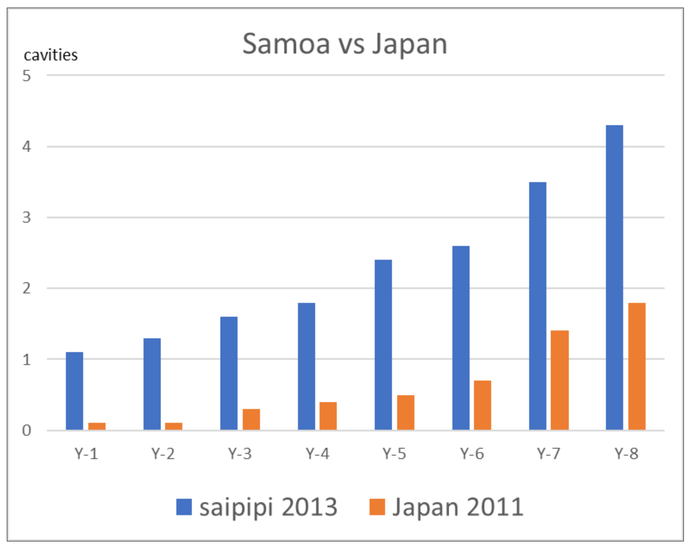
①2012年6月サモア訪問　　友人訪ねる旅行
②2012年11月サモア訪問
　予防活動根回し開始　許可得る
③2013.4　1回目診査
④2013.9　フッ化物洗口開始（週1回）
- ・・・
- ・・・

⑱2019.9　saipipi結果説明

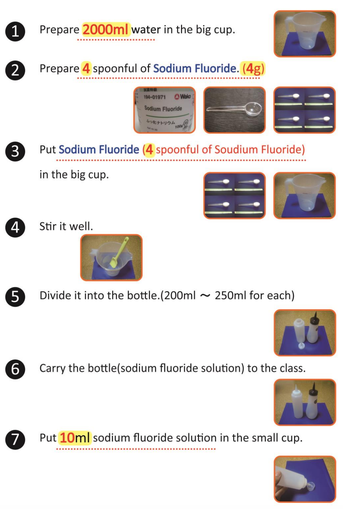
4) サモアの key person



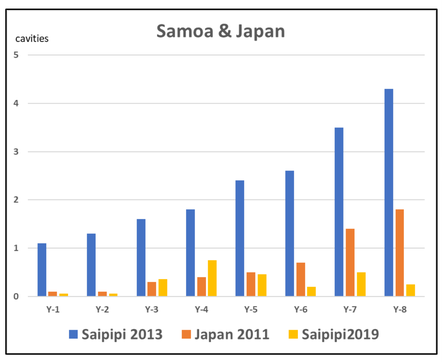
5) 1回目診査（2013）

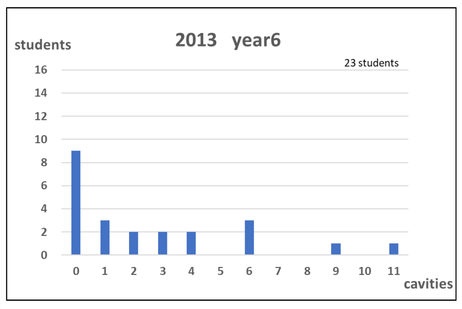


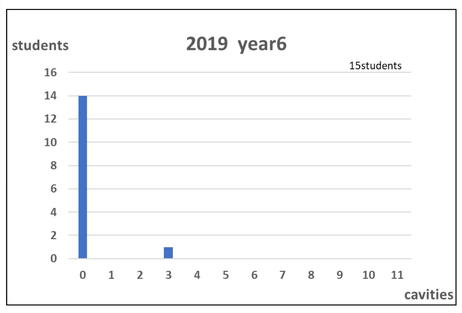
6) フッ化物洗口



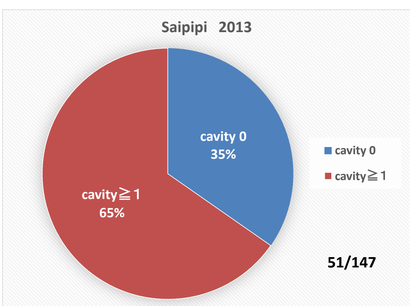
7) 6年経過

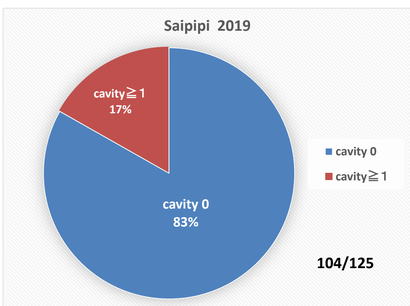






8) the percentage of cavity free students





サイピピ小学校ではTBIやシュガーコントロールの指導はほとんど行っていません。また、フッ化物洗口開始以来何か社会環境の変化があったとは考えられません。カリエスの減少はフッ化物洗口の効果であると推測されます。

9) 今後の課題・予定

- ○ サモアすべての小学校でフッ化物洗口を始めたいと考えるサモア人歯科医師のサポート
- ○ 歯周病の治療を行う

- ○ サイピピ小学校に教科書がない
  ノートと鉛筆は政府が支給
- ○ NGO設立　医療と教育
  LUMANAI SAMOA （ルマナイサモア）